
まだ生きてる、この空

no-slyme

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

まだ生きてる、この空

【Nコード】

N2937D

【作者名】

no-slyme

【あらすじ】

見たことない化物からある小屋へ逃げた窓の向こうは一面ひまわりそしていつもどおり始まった毎日

あれ？

「早く逃げる！」

「頼むおいてくなつて！」

「あの崖にある小屋に逃げんだよ！」

「わかつてるつて」

「たく遅せーな50メートル何秒だよ」

「6秒7だよ」

「案外はえーよ馬鹿」

「びびつて足が前に出ねーんだよ」

俺たちは見たことのない化け物から何も無い山奥へ逃げていた

「入れ！」

「おう」

「かぎ閉めて！」

「オツケー」

そしてそこには

「嘘だろ、外見てみろよ」

「え？なんだこれー」

その小屋の窓からそとを覗くと一面にひまわりが広がっていたその時！

小屋が大きく揺れる

「やばい、来たよどうすんだよ 殺される」

「なんでもいいからこの中にあるものを武器にするしかないだろ」

「オレ喧嘩したことないのによーあーやだ」

「本気だしやなんとかなんだろよ！」

「なるわけねーだろ！」

次の瞬間 ドアの鍵が吹っ飛んだ そして・・・

チリリリンッ！！

「うわっ！え？」

その化け物がでかいベルの音をたてて、けいれんをしはじめた
「どうなってるんだおい」

そして目が覚めた

「なんだ夢かよ うるせーんだよ時計！」

俺は高校生、夢を夢だときずけないタイプだった

退屈な毎日には刺激のあるいい夢だったかも

そしていつものようにボサボサの長い髪で 朝食に向かった

朝はいつも母さんが味噌汁作って準備万端なテーブルの上

「歯磨いて 顔洗いなさい」

いつもの母のセリフに聞き飽きている俺は黙って 洗面へ向かう

そのあとはテレビをつけて目覚ましテレビを見る これが基本

芸能ニュースは6時45分 犯罪や政治は7時 スポーツは7時1

0分

完璧に覚えてしまったくらいだ

そして飯を食いながら 窓の外を見るのが趣味 なぜかというと

会社に向かうサラリーマンとか 学校に向かう学生とか よくわか

んないねえちゃんとか

見てると みんな必死に頑張ってるじゃんって ちょっと励まされ

るから

そんな俺は駅まで自転車でダッシュすれば3分で間に合った

最高記録を自信に 毎日のんびり朝を過ごしてる

「んじゃ行ってくるは！」

家を飛び出す

「ハンカチ持った？」

「持ってるよ」

ハンカチ持ったは母さんのお決まりのセリフ2だ
自転車の鍵開けて俺はいつもどおり学校へ向かった

あれ？（後書き）

読みやすく 何も考えず書きました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2937d/>

まだ生きてる、この空

2010年10月9日03時43分発行